

贈って喜ばれる

花見屋の浮世あられ

伝統の味、良質のもち米と醤油を使って、一枚一枚焼きあげた手焼きのおかきには、独特的の歯ごたえと香ばしさがある。日本茶で過ごすひととき、浮世あられをはじめ、花見屋のオリジナルをお楽しみ下さい。



花見屋

元町店・中央区元町通2-6-6
TEL(078)331・0873 無休

□神戸を愛する人々へ贈るメッセージ

花ふぶき、北野坂

トア・ロード

写真と文

稻田 勝巳
△FDB代表▽



桜の花散る頃、花ふぶきのトンネルに今年も布引の景色は、神戸の港を美しく時間の絵に撮されている。

黄昏時の散歩道が北野坂であつたり、トアロードであつたり、今日もガス燈がいつもの時間に灯っている。

メリケン波止場のブイに太くながれた船が、時の知らせを告げるドラの音と共に、さよならのテープにメリケン波止場を遠い遠い航路へと、それは、また会えるか。涙の中にテープが切れるまで、そして船がもう見えなくなるまで大勢の人があれを惜しんだのだろう。

神戸のある詩人が去つて行く時に神戸の街をしたその詩が今も残っている。白い紙の中にチョ

コレートを愛したおやじさんが、ほろ苦い青春のチヨコレートを今も作り続けている。

今でも、思い出に残る……。時間の別れ、人の別れ、思い出が残る神戸の街で、またひとつさらなる、大好きな人の店がこの4月24日で閉じる。

夜、あるBARでマッカラーン25年の旅をした。封を切り、グラスを眺め、じつと考えながら、ふと気がつくとこの25年は、ちょうど社会に出た自分と同じ年のWHISKYである。

円熟と言う遠い道に、また明日から白い紙の中誰でも人に言えない道がある。
安易に盗めばそれでいいと言うものでもない。

たやすい見せかけの道具や飾りはいらない。黙々と、そして心をこめて何事にも続けてきたその老舗の味（様々な）神戸は、そんな食文化に對しても厳しい土壌によって育てられた。

あるHOTELのBARで最近飲んだ。

なる程大仕掛けに今風のコスチュームやバック

BARの庭。

しかし、じつと目をこらすとお酒を飲むのも時間と会話するのも、ひとつの飲み方なんだろう。

でも、サービスチャージは一流の値段。内容は、一年生の学生アルバイトがもう何十年もしてきた人と同じように時間の味を飲ます訳がないのかも知れない。納得させられるものでもない今風のこのBAR。

神戸を愛する人は、自信作の商品や時間を届けてきたのではないだろうか。最近は、珈琲の味も苦くなってきた。

昔と比べて、どうしても観光優先は、人の心にも忙しい旅を強いるのだろうか。ここ一番は、真心のこもった接客やもてなしの精神、そして本当に誇りを持てるプロでは非ありたい。

街づくりは、人が作るものであるが、すばらしい都市景観は、そこに住む人とかかわる人がつくるものだと思う。

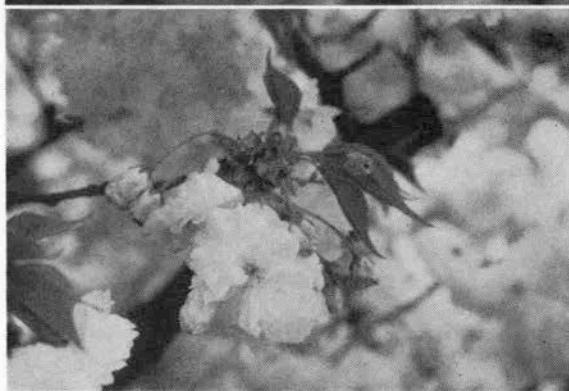
神戸の日記からまたひとつ灯りが消えた。



ここここに咲き乱れる桜。心なごませる
ふくよかな花に、ふと懐しさが蘇る。

いなだかつみ

(F・D・B代表者、プロデューサー)1950年生まれ。大阪市立第二工芸図案科卒業。EXPO・'70、京都駅前再開発、その他、商業施設プランを手がけ、79年にF・D・Bを設立。
OFFICE ☎392-0461代



ファッショントリニティ、ブリッジで 神戸をアクティブな街に

□座談会出席者（敬称略・順不同）

中村 一夫（株イズムコントローラ室）

岩田 明（株アバラン第二事業部）

丹野最世子（KFM会員 ブティック魔女デザイナー）

前川 治美（株式会社ヌンカ取締役室長）

井上真由美（オールスタイル株商品企画部）

田仲留美子（神戸ファッショントリニティ専門学校教員）

神戸市がファッショントリニティ都市宣言をして、既に17年。昨年、11月に行われたWFF'89インKOBEでは、ボートアイランドのファッショントリニティが街びらきし、あわせて、神戸で初めてインターナショナルなファッショントリニティが行われるなど、「89年は、神戸が、日本はもちろん世界からも注目を浴びた一年でした。そこで、「90年代のファッショントリニティで活躍するクリエイターのみなさんにお集まりいただき、ご意見を伺つた。

中村 一夫さん



——昨年のWFFでのショーはいかがでしたか。

中村 昨年のショーで有難かつた事は、何の制約もありませんでしたので、自由に表現することができたという点ですね。ショーを見てもうって、バイヤーに買っていただくという目的ではなかったことが、自分のやりがいにつながったと思うんです。

井上 私の場合は、何せ突然の仕事が入ってきたので、まず第一にどうしようかと思いました。でも、これは腰を据えて取りかからないと、自分の持っているものを総て出し切って作らないと仕方がないと、そこで決心したんです。ショーを経験するのも、自分だけの意見で作れるのも初めてでしたから、結果は別にして、良かったんじゃないかな。というのは、精神的に成長というか、一步前進したという気がするんです。ただ、ショーが終わってから二ヶ月ぐらいは、その余韻が残ってしまった、ホワーッとしていましたね。今までの自分の仕事のやり方や、デザインとは何かということまで考えさせられてしまつて。

中村 私も以前からショーをやってみたいという気持ちもありました。実を言うと、私自身が厄年にさしかかってきていましてね。縁起はあまりかつがない方なのです。が、近頃の自分の体調を振り返ってみると、やはり、これは実際にあるものなんだなと感じて（笑）。ここで一発何かを打ち上げるような気分で取り組めるものがいいと、心も体もまいったしまうんじやないかと思つてい



丹野 最世子さん

岩田 明さん

井上 真由美さん

前川 治美さん

田仲 留美子さん

た矢先にショリーの話が舞い込んできたんですよ。だから、自分にとつて非常にラッキーでしたね。

岩田 私も4月にショリーをさせていただきましたが、みなさんと同じように初めての経験でしたし、難点もありましたけど、周りの方々に協力していただいたおかげで、いいショリーが出来ました。自分にとつては何よりも、企業に所属する中で出来たことが良かったですね。あのショーの時は展示会もされて、結構、評判が良かったんですよ。

★街が活動的になればいいですね

—神戸で服づくりをされていて、いかがですか。

中村 私は京都出身で、洋裁学校を卒業するまで住んでいましたが、神戸は京都に似ている部分がいくつかあると思いますね。騒々しい東京や大阪と違つて、落ち着いた美しい環境が私のバックボーンになっていて、仕事をする上で快適な空間を与えてくれます。だから、神戸を離れる気にはならないのかな。最高の環境ですよ。ほっこりっぽくない美しさが感じられます。

井上 ある雑誌には、神戸は住みたい街のアンケートランクイングの3位に入つていましたよ。他にも、同じようなアンケートで神戸は、常に上位にランクされていますものね。私も、JRで窓際に六甲山や海を見ながら通勤していますが、最高に眺めがいいですね。私の住まいは、兵庫県内ですが大阪寄りですので、学校も大阪で、四年間、地下鉄で通っていたんです。でも、あのバタバタした感じが自分の気質に合わないので、自然と仕事場を神戸に求めていました。

岩田 そうですね。それぞれの感性が、自分に合った環境を求めているようですね。私は大分県の日田市という人口7万人ぐらいの温泉地が出身でして、自然の中で育つたんです。パリから帰国して一年半になりますが、今は明石に住んでいまして、夏には蛙がガアガア鳴く声が聞こえてくるんですよ(笑)。通勤は大変ですけど、や

はり、そういう落ち着いた環境がいいと思いますね。

田仲 神戸って綺麗な街ですよね。小さなブティックや百貨店も他の街とはひと味違う、センスが良く、グレードの高い物が揃っています。そんな環境の中で、自然と

目に入ってくる洗練された感覺というのだが、モノを創る者の感性に影響を与えて、かつ磨いてくれるんではないでしょうか。ただ、その神戸らしい感覺の服にしても、小物にしても、パワフルではないですね。何かエネルギーッシュな爆発という点に欠けていると思います。

前川 神戸は住むのにはいいけれど、ファッショニ性は軽くて表面的な気がしますね。じっくり時間をかけていいものに眼をかけていかなくては…。

井上 街にしてももっと活動的になつてほしいですよね。ファッショントンタウンも街びらきが終わりましたが、何か足りない感じがするんです。住む街である以上に、行動的な街にすることがこれから課題だと思いますね。

中村 そうですね。もっとアクティブな街になつてほしいですね。特に、ファッショントンタウンの場合は、買物のできる店が少ないと思うんですよ。

★神戸には明るい色の装いが似合う

— そういう恵まれた環境の中で作られる神戸の洋服が支持されていますね。

中村 そうですね。ある意味で日本人のもつ小奇麗さが表現できているんじゃないかと思うんです。割と、東京の方はDCブランドを中心に、感覺ばかりが先走つてしまつて、それなりのセンスをもつ限られた人には着ることができても、一般向きではないですね。

丹野 中身が問題になつてくるんですよね。姿勢を正して、背筋を伸ばして、というふうに、服に着られてしまわない着こなしが。

中村 しかし、神戸発のファッショーンは、何となく形を変えて、スポーティエレガンスが基調になっています。そして、小奇麗さをキープしている。それが、こじわないので

んまりした日本人の体形とか、きつちりとした物を好む気質にうまくあてはまっているからじゃないかな。

田仲 それと「神戸」というステータスがあるからじゃないですか。

丹野 「神戸発」ということで、異国情緒と日本っぽいものがミックスされた街のイメージが、外部の人々には、「神戸に行けば必ずいい物がある」と感じさせるのだと思います。今ではインポート物などはどの街にもあって、どこへ行つても買えますが、それでも、数ある輸入の中から世界の各々の店が選んで置いているものには何かいいものがあると、思つて下さつてているようです。

井上 私は神戸を意識して作っていないんですけど、やはり、神戸に来られるバイヤーは神戸らしいものを、例えば、色やシルエットに求めているのではないでしょうか。それが中村さんのおっしゃった事にも通じているんだと思います。それに、デザイナーの個性だけではなく、神戸のイメージを向上させようという考え方が各企業につて、それが上手くいい方向へつながっているんだと思ひます。

丹野 神戸は空気が澄んでいるので、きれいな色使いができるということが、まず掲げられます。海と山の間をスペーツと抜ける空間がありますでしょう。海も近いし、どちらかといえばイタリアファッショーンのような綺麗な色が、イメージとして思い浮かびますね。

田仲 また、そういう色を着ていてそれが映える街なんですよね。

丹野 そうなんです。デザインしていて、あまり暗い色は頭に浮かんでこないんです。

井上 そうですね。黒っぽいデコラティブなものより、明るい色の方が神戸の街には似合いますね。

丹野 旧居留地界隈の、古い建物を利用したファッショーンスポーツの街並みなどでは、あそこだけ他とは違った空気が流れていて、少しドレスアップして歩きたいなと思ひますね。私はもともと、海の側で生まれたもので

すから、軽快なヴィヴィッドな色が好きで、服作りにもそれが出てると思います。

田仲 私も海の街出身なんです。神戸もそうですが、波の音が聞こえたり、潮の香りがするわけではないけれど、身近に海がある、という意識は人を陽気にさせます。神戸はそれだけでなく山にも近いせいか、その陽気が穏和されて、明るいだけでなくシックな落ち着きがあると思いません。

井上 ただ最近、ブティックがたくさんできていますよね。旧居留地にても、海外からのブランドが。これから、そういうブランドと、神戸にもとからあるブランドが融合して、神戸のファッショングも変わっていくんじやないかと、私は思っています。

★作っていて、職人気質を感じます

前川 日本は、デザイナーを志望する人が多いのに短大ぐらいの専門学校だから仕事の出来る人が少ないと思う。誰々風をつくるのは上手いけれど、オリジナリティがないのね。あまりにも学校が長いスタンスのシステムで押し出されがあるので、専門学校でブツギリになつているような気がして。

丹野 私は神戸が好きで、この街に住んで服を作つてますから、特に『神戸のー』というよりも、私らしく私なりのイメージがあつて、それを遊びながら楽しんで形にしていくだけです。ひらめくものがあると、あまり流行に左右されず作りたいものを作る。

井上 やはり、働いていて女性的な気持ちがきつと自分にあると思うんですね。そういう意味では、あまり時代の流れに逆らわないようにすることが、私の基本ラインになっていますね。

岩田 なるほど。私はパリで8年間仕事をしていたんですが、特に、ギラロッシュのオートクチュール部門に長く勤めていたせいか、帰国した当時は、シンプルなクラシックエレガンスを求める傾向があつたんです。ライン

にしても、縫製にしてもね。だから、女性にもそれを頗つていました。でも、実際には、お値段とかの問題がでてきます。企業に入つて、特定の方々よりも、一般の方々にお洒落でエレガントなムードを味わつていただける洋服づくりをして、多くの女性に着てもらいたいなと思うようになりました。

前川 買う人に自分の想いを伝えることは大切なことです。そうでないと、自分のパイプがつまってしまう。岩田 しかし、自分の楽しみも頭の中に残しておきたいので、シーズンごとにデッサンを100枚ぐらいしたためいます。それは自分のワンコレクションの中のオートクチュール分野においておくんです。ちょっと職人のような話になりますが：（笑）。

中村 職人気質というのは、わかりますね。私も実感しています。自分の作ったものをひとつひとつ手に取つてみるような、そういう姿勢で仕事を進めていますね。岩田さんのおっしゃったことにうなづいてしまいました（笑）。岩田 自分の作品すべてが、かわいいんですね。展示会の直前にも、ほこりがついていたラボンボンとはらつてみたりするんですよ（笑）。どうしても気になつてね。

★スペシャリストとして感性を重視してほしい

中村 岩田さんが日本の企業内でデザイナーの仕事をされていて、パリの場合とどんな違いがあると思いますか。

岩田 人それぞれの生活のリズムと、仕事とが完全に分かれていることですね。例えば、針子さんの場合でも、終業の時間のベルが鳴ると、パッと仕事を終えてタイムカードを押すんです。デザイナーの場合でもそんな感じです。勿論、土、日は必ず休みですね。だから、コレクション前などの時に残業があつたりすると、みんなが集つて交渉が続くんですよ。それほど、個人の生活を重視する民族なんですね。仕事をする反面、生活をエンジョイできているんです。これは、フランスに行つていいことを学んだなと思いますし、人生において重要なこと

だなど実感しました。

井上 その点、日本の場合は、ほとんどが雑用で絵を書いている暇がないくらい忙しい面があります。

中村 ある意味で、できるのならあらゆる分野の仕事がまわってきますね。

岩田 向こうでは、分担作業の中で一つのチームワークがとれていて、それぞれに指導者がいて、チーフがいます。私は、オートクチュールの分野に属していましたので、もっぱらデッサンを主体にしていました。

中村 そういうシステムができているんですね。その辺で、日本のこの業界は歴史が浅いし、まだまだ遅れていますね。できる人間ほど、仕事がまわってくるし、それぞの部門が確立してないから、時間で補おうとしてしまう。伝統や社会のしくみの違いはありますけど、日本も改善しないといけないところですね。これは、90年代の課題だと思います。

岩田 私は、フランスで仕事をしていた頃の習慣が残つていて、企業内では異種な存在になっているかもしれません

せん(笑)。休む時は、休むんだといった具合に、めりはりをつけていますから。日本だと、他人から見ると仕事をしていないように見えるかもしれません、自分でガサガサと忙しくすると、会社全体までガサガサするような気がして。一人ぐら自分みたいな人間がいてもいいんじゃないかと思つていてるんですよ(笑)。

井上 日本の現状では、やはり、企業デザイナーはかわいそうというか。そう考えると、クリエイターは企業の中の歯車ではなくて、例えば、営業とクリエイターとは違うということを、いい意味でスペシャリストとして理解してもらいたいですね。現段階でデザイナーに求められるものは、まず体力ですよ(笑)。それよりも、感性を重視してほしいですね。それには、もう少しクリエイターや企業とのコミュニケーションが必要だと思います。

★人が集まつて燃え上がる催しができれば

——これから神戸の街に望むことで、どんなことがありますか。

中村 神戸は、かねてから外人が多く住居していることが特徴で、そのおかげで感覚が磨かれて、街が発展してきたと思うんです。ハイカラ文化と言われるようですね。

ところが、領事館等が他の都市へ移つてしまつて、外国人の人口が減ってきてます。それを何とか、神戸へ呼び戻す方法を考えてもらいたいですね。外人居住比率を以前に戻すように。そうすれば、インターナショナルな時代といわれる中にあって、日々にしてそれが磨けると思うんです。

井上 私は、もっと遊ぶ所がほしいですね。やはり早い時間に閉めるお店が多いですし、せめて、9時ぐらいまでは営業してもらいたいです。それでないと、働く者にとってはどこへも行けないですよ。それと、一般的な映画館はあっても、趣向を凝らした映画館がないですね。もっと、片寄った趣味的なものを見させてくれる映画館ができるべきだと思います。

丹野 ホテルは本当に充実してきましたが、映画館やホールですね。

田仲 オーバーは10時までですね、とはいっても遅い時間にはガラガラですけれど…。それと、イベント会場がないですね。私は、何かホールや会場からイメージが湧くようなステキな会場がほしいですね。

丹野 そうですね。確かにたくさん的人が集まつてきてワーッと燃える催しがいいのがないですね。ほんとに音楽にしても芝居にしても大きいものが来ません。いい劇場がないですからね。

前川 地元の人が集まつて、夜ゆっくり演劇や唄を楽しめるゾーンがほしいですね。近鉄劇場で、ジャヌス・モローの一人芝居を観ましたが、あれは神戸でやつた方がよかつたよう思いますね、三十代から四十代の大人の教育にもなるし、観客のあり方、芝居のみせ方でいい人が集まるといった、高いレベルの文化ゾーンづくりをぜひ。

田崎真珠株

取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区港島中町 6-3-2
TEL (078) 302-3321

オールスタイル株式会社

取締役会長 川上 勉
神戸市中央区港島中町 6-5-1
TEL (078) 303-3311



キャンペーン「神戸の観光と魅力を探る」の
企画は以上各社の提供によるものです。

oh★タカラヅ力対談

麗
うるわ

爛漫と花開く。○



ひびき 美都

＜宝塚歌劇団・花組＞



大浦 みづき

＜宝塚歌劇団・花組＞



植田 紳爾

＜宝塚歌劇団・演出家＞

春が訪れ “ベルサイユのばら”

が咲く宝塚。今回は花組を中心にして「フェルゼン編」を3月29日～5月8日まで上演。主役の大浦みづきさん、ひびき美都さん、演出の植田紳爾さんを訪ねてお話しを伺つた。まずは昨年秋のニューヨーク公演の感想から。

■運命の巡り合わせ、
ニューヨーク公演

植田 感動です。最高の夢ですかね、ブロードウェイは。楽の日でもまだ信じられなかつたですね。僕達は本当に運が良いね、一年違つても出会えない経験ですから。

そして本場の76年間が評価された事は宝塚の76年間が評価された訳で、嬉しかったね。会場全体が乗つていて事が感じられて――。

大浦 私達は乗る余裕などなく、ただ積み重ねたものを出し切れたと思うのみでした。終つた時 начи

初めて責任の重さを感じ“やつた

のだ”と感激でした。

ひびき 毎日が初日の様に緊張の連続でした。今思い返しても本当にだつたのかしらと……。

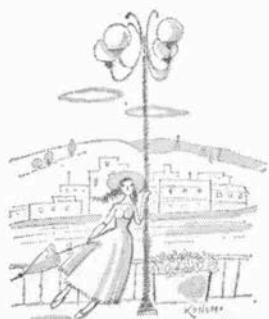
大浦 始まる前の不安はすごかつたですね。通し稽古ができなくて。大階段なども全部持つて行つたんですが、日本だと舞台を作りながらお稽古を進めますが、むこうは装置が完全に出来るまで次をさせてくれない。初日の直前にそんなでしたから、もうアカンと思わされましたね。でもいざ本番が始まるとバチッと出来るんです。さすがが本場のプロ。

植田 習慣の違いにもとまどう事がいろいろありましたね。

大浦 時間的にも、自分達の仕事時間が終ると、振り向いたらもう居ない（笑）。

ひびき でも衣裳部の人々が最後には下級生の着物の着付けまでしてくれたんですよね。

大浦 裏方さんも馴染んで下さつ



て、舞台に声がかかるの。

ひびき 横や上からね（笑）。

大浦 舞台稽古に次いで驚かされたのが、幕の開く直前。ソデから

チラツと見たら客席がガラガラ。

ひびき 開幕10分前なのにお客さ

ん来てない、どうしよ――。

大浦 案内がスムーズに行かな

つたそうで、その時ロビーは押す

な押すの大騒ぎ（笑）。

植田 むこうでは、舞台を見る前

にロビーが社交場という事もある

からね。六千人のお客様さんという

のはすごいものですよ。初日のパ

ーティーでもいっぱいの人。有名

な人がとにかく次から肩を叩いてくれる。誰が誰やらわか

らなかつたけど（笑）。

大浦 楽屋はハリウッド映画に出

てくる様に豪華なのね。でも使え

なかつた（笑）。楽屋同士が遠すぎ

て連絡取れないから。

ひびき でも皆一緒の大部屋で、

楽しかったですね。

■亡びの美学、フェルゼン

植田 「ベルバラ」の初演の時は

こんなに人気が出るとは思わなか

つたけど、大きなストーリーだからまだ舞台用ストーリーはいっば

い出来るよって言つてたんです。

それがこんなになつちやつた。

大浦 三度目の上演なので、見る

方もイメージがどんどん脳らんで

いるでしようし、応えなくてはと

あがいています（笑）。

ひびき アントワネットの役をい

ただいてとても嬉しかったのです

が、今まで様式的なものが少なか



つたのでコツが掴めなくて。誇張すればいいだけではなく、ひとつひとつを丁寧になのです。でもまだ感情が先に走ってしまいます。

大浦 どこを切っても悲劇、悲劇のオンパレードなので、重々しいで流れを作るのが難しいです。

ひびき 今まで偉大な方がされていますし。
大浦 後にする者のつらさよ(笑)先輩の舞台はとても自然なので気付かなかつたけれど、いざ自分が

やると、なんとスゴイコト。
ひびき お芝居やつて見て見せちやいけないんですね。

大浦 さり気なく深くね。

植田 個性があつての宝塚ですか
ら、花組のヘルばらの魅力を出さないとね。そこここに違つた味を振り撒いてるの。その塩、胡椒が難しい。ナツメ(大浦)のフェルゼンは、"叶う事のない愛に身

を焦してゆく、男の亡びの美学"大浦 彼は信念に向かって走つているんですね。台本を見た時"アアこれ!これぞフェルゼン"先生のお考えと一致した事が嬉しかつたです。だからこそ、もっと素晴らしく仕上げてゆきたい。結婚もできない人を思いつめるなんて信じられないと思うけど、彼にとっては全てだつたのだ、とお客様に心から納得していただけたらと思います。ねつ王妃様!

ひびき フエルゼン様は本当にカッコイイのですよ。
大浦 サーベルがサツと納まればね。走つてゼーゼー言つてから手が震えてうまく入らないの。鞘に入らなかつたら捨ててゆくしかない(笑)。

ひびき 不思議な事ですが、ベルばら色つてあるのですね。
大浦 そう。花組つてお稽古の時タオル首に巻いたりキタナイカツコだつたのね。星組のお稽古見せ

てもらうと、フリフリレオタードや真白のブラウス着てやつてる。

ひびき あんなのできないよねエ

つて言つてたんですね。

大浦 ところがやり出すと皆その

気になって変っちゃつた(笑)。植田先生のお稽古場は只得の雰囲気

があつて、先生からオーラが出ていますよ(笑)。

ひびき 先生がうつむかれると、変なことしたかしらとドキンとしちやつたり。

大浦 ただ目にゴミが入つただけだつたんですけど(笑)。

ひびき ニコツとされたら安心したり……。

植田 見てて芝居に血が通つくるといつて思つんですよ。長谷川一夫先生の"宝塚は女役ががんばつたら良くなる。男役を生きずも殺すも女役や"という言葉がよく解つて来ました。

大浦 私達も必死だから、下級生も目が輝いていますね。組のカラ一と言いますが、オスカルもミキ(真矢みき)とヤン(安寿ミラ)では違うのね。それぞれに対してできればと思ひます。

植田 個人個人の魅力が引き出され、それが合体して花組の魅力を作り出してゆくのですから、楽し

(於レストランカラベルにて)



植田先生はオーラが出てるのですよ(大浦)。独特の張りつめた空気がありますね(ひびき)。

1990 SPRING COLLECTION

君と過ごす時間が、たのしい。



お洒落のための特典いろいろ。
1枚のカードから
セリザワカード



serizawa
KOBE

■本店 神戸市中央区三宮町3-1-8 TEL.078-331-1695

●レディス●

本店・さんプラザ店・センター街店・さんちか店・P-4ショップ

●メンズ●

メンズセリザワ

KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI



(レオナール) ジャケット(綿100%) 73,000円

(レオナール) ブラウス(綿100%) 58,000円

■ディディエ・ラマルト ショルダーバッグ 30,000円

■新館5階 ロイヤルサロン

(ペスト・インターナショナル) イヤリング 47,000円

■新館4階 ロイヤルサロンドゥ

1990年 そごうのテーマ

樂園さがし。

 SOGO
SANOMIYA KOBE

お買上げの際は消費税3%を別途頂だいいたします。

新館5階
ロイヤルサロン

CELINE

ESCADA

GIORGIO ARMANI

Aquascutum

FENDI

HORN
ITALY

GUCCI

HERMES

DIDIER LAMARTHE
PARIS

LEONARD

Risposte
di Laura Biagiotti

STUDIO

0001
FERRE

Gianni Versace uomo

MISSONI
UOMO

EXAMPLE
MISSONI

新館4階
ロイヤルサロン ドゥ

BALLY
LANCEL
TANINO CRISCI

Cartier

BEST
INTERNATIONAL

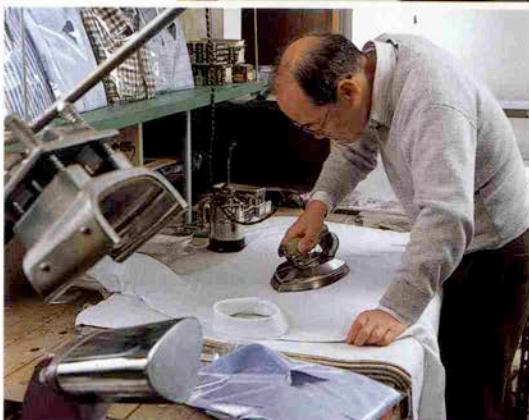
4月18日添オープン予定
BEPPE SPADACINI

ふたつのサロンで、
揺れたい。

選品というものは数が
限られていることが多いようですね。
つくりあげられる工程を考えると
納得していくだけると思いますが、
革のなめしにしても、手縫いにしても、
いかに熟練した職人とはいえ、
大量生産のようにはいかない。
そのかわり、
クラフトマンのプライドが、
デザイナーのこだわりが、
何ともいえないいい味となって出てきます。
(そう)神戸店新館の
“ロイヤルサロン”と
“ロイヤルサロン ドゥ”。
このふたつのサロンでは、
インポートファッショント舶来雑貨の
選品が個性を競いあっています。
これから長くつきあっていくものだから、
時間をかけて選びたい。
あなたの迷える楽しさは、
ここにあります。



神戸シャツの生産工場では、裁断、縫製、仕上げにいたる全73工程がほとんど手作業で行なわれている。



ハイカラ神戸専門店物語
シリーズII
商品は語る
Part 5
(オーダーメイドシャツ)
神戸シャツ

原点を忘れないシャツ作り

品質のよさにこだわったオーダーシャツ作りを追求する神戸シャツ。身体にフィットする、シンプルで着易いシャツは神戸のシャツ作りを常にリードしてきた。

その神戸のシャツの商品を生み出すのが同社の生産工場。C, A, D(コンピュータ、エッド、デザイン)というバタンメイキングシステムを導入、新しいシャツ作りにも積極的に取り組んでいる。反面、きめ細かな技術を必要とする手作業の部分は従来の既製品よりも10工程も多い73工程で、新しさの中にもオーダーシャツ作りの原点は大切に守り続けている。

KOBE EXCELLENT SHOP

★よろず御襷衣縫上處

神戸シャツ

神戸市中央区三宮町3丁目1-6 ☎331-2168

★選りすぐった一点を…。

Sanohe

神戸市中央区元町通2丁目5-7 ☎331-4707

★婦人帽子

マキシム

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13 ☎331-6711

★舶来品ブティック

アスター・ニュートン

神戸市中央区北長狭通3丁目12-14 ☎331-1818

★本格派の人々に愛される

ヨシオカ

神戸市中央区三宮町3丁目1-9 ☎331-5190

★伝わる真ごころ最高の風格

金 柴田音吉洋服店

神戸市中央区元町通4丁目2-22 ☎341-0693

★欧風家具・設計・創作

永田 良介商店

神戸市中央区三宮町3丁目1-4 ☎391-3737~9

※このシリーズは上記の専門店の提供によるものです。



シンプルで着易いシャツ。神戸シャツの原点がそこにある。

HAVE
A
FAMILIR TIME



春の
微笑がえし



TEA ROOM & LITTLE SHOP
ファミリア 北野坂ハウス

神戸市中央区北野町2丁目8-1 TEL.(078)222-3535

うららかな、土曜日の昼下り。
笑顔の中におしゃべりの、花が咲き
青空に浮かぶ雲のような
ふんわり甘い、シフォンケーキに
人気が集まります。



100円の、 ぜいたく。



19周年を記念して
4月20日(金)は、
6つのバスの
サウナコース1,900円が
100円になります。

サウナ
ハーブサウナ
冷水超音波バス
温水バイオラバス
マッサージシャワー

● 当日みなさまからお寄せいただくサウナ料金は、
全額福祉施設に寄付いたします。
100円以上いくらでも、
あなたのお気持ちをお寄せください。

さらに、プレゼントや特典も、
もれなくさしあげます。



19周年記念

ハーブ チャリティ 100円 薬草浴

4月20日(金)朝10時～夜1時(受付は夜12時まで)

サウナコース(通常)……………1,900円
マッサージ……………3,000円
オイルマッサージ……………6,000円
ブラッシング&オイルマッサージ…7,200円
エステティック・ツイン……………9,500円
(全身のオイルマッサージと美顔セット)

ボディケア……………3,500円～6,000円
フェイシャルケア……………4,500円～5,500円

※料金に消費税は含まれておりません。

サウナとエステティック
神戸 レディスサウナ

Tel. 078-321-4742

神戸市中央区下山手通2-2-10 ● ウィンザーホテル向かい 営業時間/朝10時～夜3時(通常) 年中無休

